

未来を開く

長井市立長井北中学校 No82 令和4年 2月22日

知っていましたか？ 「長井北中応援歌」

「人生の応援歌」と言えば、卒業してからも同級会等、折に触れて歌う「校歌」。でも、本校に「応援歌」があることをご存知ですか？
※北中だより「未来を開く」平成30年2月16日 No120より引用

本校には「長井北中応援歌」(右に掲載)があることを知っていたでしょうか。昭和59年10月13日に制定され、第3回創立記念式の中で発表披露されました。

当時は、壮行式の折りなどで盛んに歌われていましたが、だんだん歌われることが少なくなりました。音楽の時間などで生徒に紹介してもらおう、音楽担当の鷲尾桂子先生にお願いしたところです。

昭和59年度の「北嶺」第3号に、作詞・作曲をされた酒井俊英さん(第4回卒 現山形市在住)の次のようなコメントが掲載されています。

応援歌を募集する、という話があって1か月、しめ切りが迫ってきました。しかし、作詞の募集だったので国語の嫌いな僕は何も手をつけませんでした。(中略)

でも、作曲の方は4つくらい曲をつけて、その中から選びました。リズムが簡



単で歌いやすい音域・調べ(しらべ)で作ったつもりです。これから吹奏楽用に編曲して壮行式でも使えるようにしたいと思います。

今回、僕の作品が選ばれたのは運がよかったです。あと何年後かもっとすばらしい応援歌ができることを期待しています。



長井北中応援歌

酒井 俊英 作詞
作曲

の が わ の ほ と り と の き び た ゆ く わ れ ー ら
 は や ま の ふ も と の き た え し わ れ ー ら
 こ こ ろ は ひ と つ に い き ま に つ も ゆ う
 い た だ き た く め ざ し の い と ざ も す が す ら ま ん
 な が い き た ち ゅ う こ こ に あ り
 し ゅ う り の え い か ん わ れ ー に あ り

一、野川のほとり 伸びゆく我ら
 心はひとつ 意気に燃ゆ
 頂きめざし いざ進まん
 長井北中 ここにあり
 勝利の栄冠 我れにあり

二、葉山のふもと きたえし我ら
 誇りを胸に 今集う
 ああたくましの 友がらよ
 長井北中 ここにあり
 勝利の栄冠 我れにあり

作詞 本校第四回卒業生
作曲 酒井俊英

長井市の今後の展望を学ぶ

「長井市勢」について、長井市長 内谷重治様よりご講話いただいた3年生。「夢と希望に満ちた取り組み」に心弾ませた。

2月18日(金)、長井市長様にご来校いただき、3年生がお話をお聞きました。開催概要等は以下のとおりです。



1 趣旨

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった「長井市まちづくり少年議会」の代替として、市内中学生を対象に、市長さんから講話をお聞きする機会を設け、地方自治や長井市の将来にわたるまちづくりの方針や方向性を学ぶ機会とする。(昨年に引き続き、2回目となります。)

2 対象

長井市内中学3年生

3 内容

○市長講話(市勢等の説明)

○質疑応答

4 主催

・長井市まちづくり青少年育成
市民会議 ・長井市

5 主管

・地域づくり推進課

6 主な内容



- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. 長井市勢について(人口推移他) | 4. ひとづくり |
| 2. まちづくり | 5. 公共施設整備 |
| 3. しごとづくり | 6. 未来に向けて |



【上:お聞きした後の質問のようす。的を射た内容に感心しました。】

3年生の感想(抜粋して掲載しています)

私は市長さんの話を聞いて、長井の現状と将来についてたくさん知り、学ぶことができました。人口を増やすための努力や、若い人たちが集まるようなイベントなどを考えてくださっていて、長井の未来に希望を持つことができました。わたしも長井のイベントや取り組みに積極的に参加し、この美しい自然あふれる長井を守っていけるよう、ふるさとを大切にしていきたいです。(1組 奥山紗良さん)

私はお話をお聞きして、長井でも少子高齢化が進み、人口が減っていることを知りました。しかし、ショッピングモールや映画館などがあれば、子育て世代や若い世代も楽しめると思うので、良い取り組みだと思いました。また、eスポーツのスタジオができたなら、市内外、県外からも注視され、人が集まると思います。将来長井から出たいと思っていましたが、長井で働いたり、住んで生活することもいいなあと思いました。(2組 高井梨星さん)

僕は市長さんの話を聞いて、長井市の少子高齢化の問題や、人口減少の実態について詳しく知ることができました。また、長井市の未来が今まで以上によくなり、活発ですごいまちになるんだなあと思いました。僕は長井市出身ということのを忘れることなく、自分の人生を歩んでいきたいです。(3組 飯澤瑠大さん)